

令和2年12月12日
広島市新型コロナウイルス感染症対策本部

会食におけるクラスターの発生について（第1報）

令和2年12月11日（金）、本市内の事業所が実施した会食において、接客関係については徹底されていましたが、個室に在席していた方の中でクラスターが発生しました。

現在、患者の行動歴など、積極的疫学調査を実施しており、その結果把握した濃厚接触者等に対しては、健康観察及びPCR検査を適切に実施することとしています。

1 経緯等

- ・12月8日（火）に、新型コロナウイルス感染症であることが判明した患者とともに会食した3名について、12月10日（木）に本市衛生研究所でPCR検査を実施したところ、同日、3名の陽性が確認されました。
- ・また、同会食に参加した県外在住の7名のうち4名が12月6日（日）以降、陽性が確認されました。
- ・患者については、現在、感染症指定医療機関等への入院を調整中です。
- ・本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はありませんが、県外往来に關しては現在調査中です。

2 患者概要

（1）年代

居住地	20代	30代	40代	50代	計
市内	2	1	1	—	4
県外*	—	2	1	1	4
合計	2	3	2	1	8

*県外在住者については、本市患者に含めない。

（2）居住地

広島市

（3）症状

軽症又は症状なし